

アジア高速道が本格推進

ESCAP 韓日海底トンネル～ヨーロッパを連結

汎アジア横断鉄道の構築事業に続き、アジア各国の道路を結びヨーロッパまで繋ぐアジア高速道路建設事業が進められている。

8日、建設交通部によると、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)は、最近、ヨーロッパ各国を高速道路で結ぶユーロ・ロード(Euro-Road)のように、アジア各国を結ぶアジア高速道路の建設事業を本格的に推進することになった。

ESCAP が計画しているアジア高速道路の路線は、海底トンネルを掘り日本と韓国を結び東京からソウル、瀋陽、北京へと続き、北京から南北の路線に分かれ、ヨーロッパまで繋がるようになっている。

南部路線の場合、北京から上海、ベトナム、タイ、ネパール、バングラデッシュ、インド北部、パキスタン、中東地域、トルコ、アフガニスタンを経て南ヨーロッパに結ばれ、その総延長は2万3千Kmに達する。

また、北部路線は北京からモンゴル、シベリアを経て、モスクワ、北ヨーロッパに結ばれ、その総延長は1万5千Kmである。

しかし中国はこのようなESCAP の計画とは異なり、北京から中国内陸地方とウズベクなどを経てヨーロッパに結ぶ路線に固執しており、最終的路線の設定過程での陣痛が予想される。

報 日 亞 東

1996年11月9日

土曜日



아시아고속도 본격추진

ESCAP 韓-日 해저터널...유집 연결

[illegible]